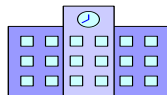


学校だより 第6号 令和3年 9月30日(木)

学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



— 笑顔いっぱい 夢いっぱい

力いっぱい —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp



さいたま市立木崎小学校

学び舎で絆を深めて

～ 『実り多き秋』を共に ～

校長 逸見 修治

朝晩は随分と過ごしやすくなり、例年よりも早く顔を出した曼珠沙華の花が道端に咲いているのを見ると、いよいよ秋の到来を感じさせられます。爽やかな秋風を感じながら、朝早くから校庭を走り回り、子どもたちは元気いっぱいに学校生活を楽しんでます。運動にも学習にも、そして読書にも最適な季節を迎えました。

緊急事態宣言の最中に始まった2学期、通常授業とタブレットを活用したオンライン授業とを併せた「ハイブリット授業」を実施しました。開始当初は、オンラインへの接続等の障害について学校にもたくさんの問合せがありました。オンライン学習で授業に参加いただいたご家庭には、御不便、御心配をおかけしまして申し訳ございませんでした。さいたま市教育研究所 ICT担当の指導・支援と、木崎小 ICT担当エバンジェリストの指導の下、全教職員の努力により少しずつですが接続環境が落ち着いてきているように感じます。

去る8月30日(月)に、令和3年度「いじめ防止シンポジウム」がオンラインにより開催されました。本校では、児童代表として児童会代表委員の6年生2名と山下PTA会長、池ノ内青少年育成木崎地区会長とで参加しました。この会議は、市内各学校の児童生徒の代表と教職員、保護者、地域団体、関係行政機関が一堂に会し、全市でいじめを起ささせない、見逃がさない環境づくりについて考えることを趣旨に毎年行っています。細田眞由美教育長をファシリテーターとして、「オンラインパネルディスカッション」を行い、私たちもオンラインで参加しました。教育委員会の先生方の役割演技をもとに、「どこにいじめが潜んでいるのか」「いじめを許さない雰囲気をつくるにはどうすればよいか」などについて話し合いました。9月は、さいたま市が掲げる「いじめ防止強化月間」です。代表の2人の6年生は、この日の体験を木崎小の代表委員会に持ち帰り、代表委員会主催のいじめ撲滅TV集会で、「いじめは些細なことがきっかけで、誰にでも起こる可能性がある」「いじめを未然に防ぐ具体的な行動を考えることが大切なのだ」ということを提案してくれました。児童会からの発信なので、友達との向き合い方や関わり合い方を見直すよい働きかけになったのではないかと思います。

9月16日(木)には、さいたま市を拠点とするプロバスケットボールチーム「さいたまブロンコス」から岡本選手、中野選手の2人の選手が来校し、児童会代表委員の児童とさいたま市教育委員会指導1課の方々と一緒に『朝のあいさつ運動』を実施しました。「あいさつは心の鏡」とも言われます。明るく元気なあいさつが飛び交い、木崎っ子の温かい心を感じました。

緊急事態宣言が9月30日まで延長となり運動会や校外行事を延期しましたが、解除後には、昨年度できなかった行事なども実施し、木崎っ子の心の絆を深め、心身ともに健康で成長できる『実り多き秋』となるよう頑張っまいります。「いじめのない、心豊かで誰にでも優しい木崎っ子」の育成に向けて、各御家庭、地域の皆様の御支援をよろしくお願いいたします。